

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年3月20日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」

ヘブライ人への手紙11章1節

92、ワワいっしょに（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記1：1～5

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。

[おはなしとおいのり 「初めに神は天地を創造された」](#) [熊田雄二牧師](#)

（上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください）

宇宙や地球、生命の成り立ちを知りたい時は、理科で勉強します。世界と人間はなぜあるのか、何のためにあるのかを知りたい時は、聖書から学びます。今は教会学校こひつじ科のお話ですから、聖書ですね。

でも、両方に共通しているのは、人間が言葉で考えているということです。言葉とは不思議なものです。そこで、創世記1章1節で「初めに神は天地を創造された」と言っているところを、ヨハネによる福音書1章1節では「初めに言(ロゴス=ことば)があった。言は神と共にあった。言は神であった」と言っています。ヨハネは、イエス様のことを伝えようとして、「言(ロゴス)」という言葉を使いましたから、イエス様は神様です。父なる神様と共におられた神様です。

初めに神は天地を創造されましたが、「光あれ」と言葉で創造されました。そのあと、水と大空、木や草、太陽と月と星、海の魚、空の鳥、陸の動物、すべて言葉で創造されました。そして最後に、人間を、言葉をしゃべる神のかたちに創造されました。世界と人間はなぜあるのか、何のためにあるのか、それは神様がお造りになった

目的にあります。

でも、創世記1章1節に続く2節では、「地は混沌(こんとん)であって、闇が深淵(しんえん)のおもてにあり」と、ちょっとこわそうなことが書いてあります。悪魔がいることはまだはっきりしていませんが、はやくも3章にヘビに化けたサタンが登場します。ですから、創世記は、始めからアクマがいることを知っています。

なぜ、神様の造られた良いものの中に、アクマが混じっているのか、聖書はハッキリ教えてくれません。ただ一つハッキリ教えてくれるのは、天地創造は救いのドラマが展開されていく舞台設定だということです。聖書のテーマは、イエス・キリストによる罪からの救いと永遠の命だからです。これが、神様の目的です。人間は言葉で、美しい世界をお造りになった神様を賛美しますが、イエス様による救いを受けたら、もっともっと神様を賛美します。世界を汚くしたのは、人間の罪だからです。

ヨハネ福音書は「闇」を「言」に対立させているので、「キリスト vs サタン」という戦いがあります。私たちが、万物と人間はなぜあるのか、何のためにあるのか知りたい時、なぜ世の中にはこんなにも悪がいっぱいあるのだろうという暗い気持ちもあります。平和を求めても求めても戦争になる。イジメをなくそうなくそうとしてもひどくなる。人間は神のかたちなのに悪が入り込んでいます。人間の心の中で、善と悪が戦っている。そして、人間は悪い方に傾いて悪に負けてしまう。実際、歴史を通して負けてきた。これが私たち人間の思い、人類の思いです。

暗闇の支配者、アクマがすべてを支配したら、世界も人間も死んで無くなってしまいます。しかし、言は命であり、人間を照らす光です。だから、「光は暗闇の中で輝いている」のです。暗闇は「神などいない」とささやいて、人間と世界を、意味もなければ目的もないものにしようとしません。地上を混沌とさせて、おおっているようです。でも、勝利の力は持っていません。光が闇を貫くのです。光が闇に勝利するのです。創世記1章3節「神は言われた。「光あれ。」こうして光があった。」

このように、ヨハネ福音書の始まりは、創世記の始めに描かれた、創造と墮落の物語を短くスケッチしています。つまり、創世記もヨハネ福音書も、勝利の約束からスタートしています。ですから、2千年以上前の古代イスラエル人は創世記を読んで希望をもっていました。2千年前の古代ギリシャ人も、ヨハネ福音書を読んで希望をもちました。今、聖書から神の言葉を聴いている私たちも希望を持てるのです。この世界は何のためにあるのか、人間は何のためにいるのか知りたいのは、希望を持ちたいからですね。

## 祈り

天地創造の神様。この世界は、闇の支配に包まれているような有様です。自分の内側に黒々とした罪があり、自分を困むこの世界も真っ暗闇です。それでも私たちは、この世界がなぜあるのか知りたいですし、自分は何のためにいるのか知りたいです。そしてその答えを聖書が与えてくれることを感謝します。

天地の造り主にして罪からの救い主なるイエス・キリストの御名によって、お祈りします。アーメン。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

6、かみは宇宙のつくりぬし（こどもさんびかをお用ください）